

佐久税務署長賞

《税金っている？ いららない？》

川上村立川上中学校 三年 由井 海吏

みなさんは「税金」というものが、大切なものだと思いますか。私は必要だと思わなかったです。それはある時、買い物をして、三千円ぴったりで本が買えると思っていましたが、税金がかかり、三千円では買えなかったという経験がありました。そんな時私は、「税金なんていらないじゃん、減税してほしい…」そんな風に思っていました。ですが、私の考えが変わったことをお話しします。

それは、四年前の台風十九号で家に近い橋が壊れてしまったことでした。壊れてすぐに工事が始まって、今では安全に通れるようになりました。私はだれがお金を出しているのか疑問に感じ、お父さんにきいてみると、「全員が支払った税金で国が直してくれているんだよ」と言われました。その時私は、税金の使い道をあのあたりにして、少し嬉しくなりました。なぜなら、自分も家族も、お金もちの人もみんな平等に支払ったお金で、公共のもの

を直して、みんなが便利になり笑顔になっていたからです。そんな時、ニュースで国会の議員が脱税している、というものを見ました。これを見て私は、「税」という平等なものを払わないのはどうなのか、国会の議員として恥ずかしくはないのか、と思いました。この世界で生活していく上では、必ず支払うもの、そんな税金を大切に使うてほしいと思いました。税金って大変だけど、年をとるにつれてもらえる「年金」だったり、救急車、消防車、道などの修理をすることは、本当にありがたいものなんだと思っ

たし、そこに関わっている自分も、うれしいなと感じました。

「税金」イコール「平等」ということの関係だと思いました。しっかりと全員が税を納めることによって保っている世界もあると思います。これ以上、税金が上がってほしくないけれど、これからも公共のものが税金でつかえるという世界であってほしいし、それによる笑顔な人が増えると思います。税金が必要ないと思っている人がいたら、私は伝えたいです。あなたの学校も、通学してくる道がキレイなもの、救急車がすぐに来てくれることも、税金が使われているんだよ、と。そして正しい税金の使い道をしてくれることを願っています。